

アグリ・エコファンドの投資先決定について

当基金は、JA バンクの CSR 事業である「JA バンクアグリサポート事業」の一環として、「アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合」（以下「アグリ・エコファンド」という。）に有限責任組合員として参加し、農業振興・環境貢献に取り組む企業経営体を支援することとしています。

このたび、アグリ・エコファンドから以下の 2 社（累計 6 社）への投資が決定されましたので、その概要をご紹介します。

1. 出萌株式会社（福岡県） <http://izumo-k.com/>

- ・ 当社は、ピーナッツや大豆の種子を発芽させたスプラウト（もやし）の生産・加工・販売を行っています。栄養価の高いピーナッツを原料としたスプラウト（もやし）は国内では珍しく、新たな農産物として需要拡大が期待されています。
- ・ また、佐賀大学が研究した新種の国産黒大豆を原料としたスプラウト（もやし）を開発し、地域ブランド化を目指しています。当社と国産黒大豆を生産する農業者、販路開拓を担う中小企業者が連携した取組みは、農商工等連携促進法に基づく認定を受けており、地域経済への波及も期待されています。
- ・ 国産黒大豆は、米作からの転作作物として生産されており、生産規模が拡大すれば、水田の有効活用につながります。
- ・ 当社の取組みは、農業生産の拡大や地域振興につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

2. しまね有機ファーム株式会社（島根県）

- ・ 当社は、グループ会社 2 社（桜江町桑茶生産組合、有機の美郷）と連携し、桑葉の生産・加工、桑茶などの加工品の販売を行っています。
- ・ 当社グループは、「里山の景観である桑畑の再生」をテーマに掲げ、遊休桑園や開墾した農地を活用して桑葉を生産しており、農地（圃場）・加工工場は有機 JAS 認証を取得しています。
- ・ 地元産の桑葉には、生活習慣病予防に効果的な成分が豊富に含まれていることが、島根県・島根大学の研究により実証されており、その加工品は機能性食品として注目されています。
- ・ 桑畑の再生のほか、約 60 名の雇用創出、島根県産桑葉のブランド化などを通じて、地域経済に貢献しています。
- ・ 当社の取組みは、農業生産の拡大や地域振興につながるものと判断し、当ファンドからの投資を決定いたしました。

[参考:アグリ・エコファンドの概要]

名称	アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合
準拠法	投資事業有限責任組合契約に関する法律
無限責任組合員	JAICシードキャピタル株式会社
有限責任組合員	日本アジア投資株式会社および当基金
出資金総額	21億円(うち当基金20億円)
投資対象	農業関連を中心に、農業振興・環境貢献に資する取組みを行う企業経営体(株式未上場会社)
設立日	平成20年8月5日

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

JAバンクアグリ・エコサポート基金 保田 (Tel 03-5283-3700)